



豊中市立第五中学校
2022年度 第69期生
進路指導委員会発行
12月6日 第51号

12月に入り、まもなく1週間が過ぎようとしています。みなさんの中学校生活も残すところあと4か月。進路についても「決める」時期にきました。まずは、今後の日程について確認しましょう。

☆今後のテストと懇談、そして進路決定に係る日程です。

12/13	進路指導委員会 ○先生たちで69期生全員を対象に一人ずつ進路について検討する大切な会議です。
12/15~21	三者懇談 ○私立高校・公立特別選抜の受験校を決めます。 ○公立一般選抜についても方向性をほぼ決めます。
冬休み中	○公立高校入試自己申告書下書き完成→1/6の8:30~9:30に担任の先生へ提出 ○Web入力による願書作成の私立高校 →入力を済まし「確認書」を1/6の8:30~9:30に担任の先生へ提出 ○手書きの願書記入が必要な私立高校 →願書を受領し、何も書かずに1/6の8:30~9:30に担任の先生へ提出
1/11	第4回実力テスト
1/12~1/18	私立高校願書作成
1/20	私立高校願書精査 ○私立高校出願書類に不備がないかを先生が最終確認します。
1/23・24	学年末テスト
1/24	私立高校一斉出願
1/26・27	模擬面接
2/1~2/8	第5回進路希望調査 ○12月の懇談内容をふまえ、記入します。
2/9	公立特別選抜書類精査 ○特別選抜出願書類に不備がないかを先生が最終確認します。
2/10・11	私立高校入試
2/14	公立特別選抜一斉出願
2/20・21	公立特別選抜入試
2/20	進路指導委員会 ○先生たちで公立一般選抜を受験する人を中心に一人ずつの進路について検討する大切な会議です。
2/21~2/27	三者懇談 ○公立高校一般選抜の受験校を決めます。
3/1	公立特別選抜合格者発表
3/1	公立一般選抜書類精査 ○一般選抜出願書類に不備がないかを先生が最終確認します。
3/2	公立一般選抜一斉出願
3/10	公立一般選抜入試
3/14	卒業式
3/20	公立一般選抜合格者発表

☆「進路指導委員会」(12/13)とは・・・、何？

今回、みなさんに提出してもらった第4回進路希望調査、そして今までのテスト等の結果や生活の様子を踏まえて、五中の他学年の先生たちやいろいろな役割の先生たちにも協力してもらって、69期生全員、ひとりずつの進路について検討します。そのため、当日は3年生のみ午前中授業(給食はあり)となります。担任の先生はこの進路指導委員会の結果を踏まえて、みなさんとの懇談に臨むこととなります。

☆「三者懇談」(12/15~21)に向けて・・・

この三者懇談では、中学卒業後の進路についてまずは大きく分けて「進学」なのか「就職」なのかを決めます。
「就職」の場合、どのように就職先を決めるのか(「縁故」や「ハローワークを通して」など)を確認し、今後の動きについて確定させます。
「進学」の場合、2学期末の最終評定を踏まえて、
1. 私立高校・公立特別選抜の受験校および志望するコース・科
2. 公立一般選抜についての方向性(例えば、成績が上がれば○○高校で現状と変わらなければ●●高校というような絞り込み)を確定させます。

☆なぜ、受験はまだ先なのに12月に決めないといけないのですか・・・？

理由は大きく2点あります。

1点目は書類の準備のためです。受験をするためには、受験の申し込み(出願)という手続きが必要です。この手続きをするためには「志願書の記入」「受験料の振り込み」「中学校の先生による個人報告書・調査書の作成」「学年の先生や校長先生による確認」など多くの手順を踏まなければいけないのでどうしても時間がかかります。

2点目は受験に向けての準備の時間が必要だということです。早く目標を決めることで冬休み以降、どのように過ごす必要があるのかが分かるはずですが、私立高校は高校によって出題される問題の傾向が異なります。いわゆる「過去問」に取り組むためにも、どの高校の問題に取り組めばよいのかが決まらないことには準備をすることもできず、気持ちを上げていくこともできません。「早く目標を定めて、準備する」ことは受験を成功させるために絶対に必要なことなのです。また、1月に入ると最後の実力テスト、そして学年末テストと中学校のテストが続くため、希望する高校の「過去問」にしっかり取り組む時間は冬休みしかないということも現実としてあります。

☆三者懇談に向けてのお願い

1. 英検等の外部試験の資格優遇の活用を考えている人へ

受験の手続き上、資格を間違いなく所持していることを中学校は確認しなければいけません。資格所持を証明する証明書の原本を担任の先生に提出してください。中学校で写し(コピー)をとって後日返却します。出願時に提出する証明書は中学校で写しをとったものを活用します。どのような資格が活用できるかは受験する高校にもよりますので、募集要項で確認をお願いします。例えば、英検・漢検・数検などは3級から活用できる高校もあります。

2. コースや科を決めるにあたって・・・

特に私立高校では同じ普通科でも「特進」や「総合」など複数のコースを設置している高校がほとんどです。まずは、自分が考えている高校のコースの中身や特徴、目指すところを懇談前によく研究・確認しておいてください。高校によっては第2志望以降、複数のコースを志願することができます。しかし、難易度の高いコースから順に志願することが正しいのかどうかはその人により異なります。本当に自分が希望するコースはどこなのか、どのような高校生活を送りたいのかを事前によく考えておいてください。

3. 私立高校の出願について

1月24日(火)に、以前であれば、「私立一斉出願」として同じ高校を受験する人と一緒に中学校から高校に必要書類を持参し、出願をします。しかし、昨年度同様、今年度についても、新型コロナウイルス感染症予防のため、郵送による出願を認める私立高校については郵送を基本とすることにします。郵送費については、受験生個別郵送の高校は家庭負担、中学校からの一括郵送の高校は中学校負担とします。しかし、どうしても「高校へ出向いての窓口出願」を希望する場合は担任にその旨を伝えてください。また、「窓口出願のみ」という私立高校については1月24日(火)を出願日としています。

<現時点で郵送による出願を予定している高校>

大阪薫英女学院・大阪成蹊女子・四天王寺(紙願書出願は除く)・宣真・明浄学院・アサンプション国際・英真学園・追手門学院・追手門学院大手前・大阪・大阪借星学園・大阪学院大学・大阪産業大学附属・大阪青凌・関西大倉・関西大学北陽・常翔学園・昇陽・大商学園・初芝立命館・箕面自由学園・桃山学院・履正社・早稲田摂陵・関西学院高等部・雲雀丘学園・洛南・立命館・西大和学園

*出願方法の確定については1月中旬に改めて「羅針盤」にてお知らせします。

郵送出願を実施する場合の不安な点として、

① 受験当日まで高校に行く機会がない

受験当日は自転車は不可とし、公共交通機関の利用または徒歩で行くようになっています。当日の行き方は大丈夫ですか？

② モチベーションの問題

「出願を終えた!」「あとは当日まで勉強あるのみ!」という気持ちになかなかたれないのではないかと心配しています。

①については冬休み中に行動してもらうことで解消できると考えます。

②については気持ちの問題。受験当日に持参する「受験票」を見ることで気持ちを上げていってください。



☆三者懇談後、1月5日(木)までにすること

① 公立高校入試自己申告書の下書き完成(公立高校受験予定者のみ)

12月9日(金)の総合の時間に「自己申告書」について説明します。12月懇談で特別選抜の受験校はもちろん、一般選抜に関してもおおよその受験校を決めます。懇談翌日以降にその高校の「アドミッションポリシー」を渡します。受け取った「アドミッションポリシー」も参考に、真剣に「自己申告書」の下書きを仕上げてください。1月6日(金)8時30分～9時30分の間に視聴覚室に待機している担任の先生に提出となります。清書は1月30日(月)に予定しています。完成度の低い下書きでは清書の段階で困るのはあなた自身ですよ。

② 私立高校の願書について

私立高校を受験する人は願書作成方法によって2種類の動きに分かれます。

(i) 紙願書による出願の場合

12月懇談で決めた私立高校には、冬休み終了までに受験生本人(保護者同伴可)が直接高校に行き、願書を受領してください。説明会に参加し、すでに持っている人はそれを利用してもらって構いません。受領した願書・調査書・振り込み用紙などパンフレットを含む全ての書類には記入せずに、全ての書類を受け取った封筒ごと、1月6日(金)8時30分～9時30分の間に視聴覚室に待機している担任の先生に提出となります。その際、全てが入った封筒の左上に鉛筆で「クラス」「出席番号」「名前」を書いておいてください。願書作成作業等は1月12日(木)放課後から始まります。

【参考】紙願書作成が必要となる高校

宣真・梅花・プール学院・明浄学院・箕面学園 など

(ii) Web出願登録による願書作成をする場合

12月懇談で決めた私立高校のWebページから願書作成に進みます。入力の方法については各高校の募集要項やWebページに手順の説明があります。冬休み中に入力を済まし、プリントアウトした「確認書」を1月6日(金)8時30分～9時30分の間に視聴覚室に待機している担任の先生に提出となります。入力間違いなどの不備があれば、担任の先生から返却されます。訂正入力完了後の「確認書」を再度プリントアウトし、提出してもらうことになります。「確認書」プリントアウト以降の作業については1月14日(金)6限に説明しますので受験料の入金等はそれまで行わないでください。

【参考】Web出願登録による願書作成を行う高校

大阪薫英女学院・大阪成蹊女子・四天王寺・アサンプション国際・英真学園・追手門学院・追手門学院大手前・大阪・大阪借星学園・大阪学院大学・大阪産業大学附属・大阪青凌・関西大倉・関西大学北陽・常翔学園・昇陽・星翔・大商学園・初芝立命館・箕面自由学園・桃山学院・履正社・早稲田摂陵・雲雀丘学園・洛南・立命館 など